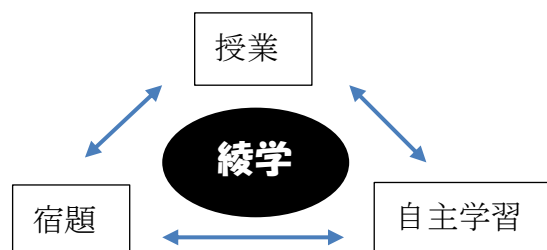


自分で学習する力を付けるための

「Let's 自主学習Ⅱ」の使い方手引き

1 家庭学習の意味

授業で分かったこと、できるようになったことを**宿題**で確認し、苦手なところの克服や新しい単元の予習、調べてみたいことの追究のため、自分で目標を立てて**自主学習**に取り組むことはとても大切なことです。綾部中学校では、このような学習の授業・宿題・自主学習に取り組むサイクルのことを『**綾学**』（あやがく）と言っています。



綾中サイクル学習のすすめ

～授業・宿題・家庭学習から『綾学』より

2 「Let's 自主学習Ⅱ」の上手な使い方

その一 学習環境を整えましょう。

- ・ 自分が集中しやすいように、リストを作るなど工夫をしてみましょう。
- ・ 学校のプリントや教科書、ノートなど学習に必要なものを整理し、いつでも取り出せるようにしましょう。
- ・ 机の上を片づけ、必要なものだけを出しましょう。

『継続は力なり』
ということわざがあります。



その二 主体的に学習しましょう。

- ・ 今の自分に必要な力は何かを考え、学習の「めあて」を立てましょう。
- ・ 学習を終えたら、「振り返り」を書き、学習を振り返ってみましょう。

その三 こつこつ続けましょう。

- ・ 「継続は力なり」です。毎日こつこつ続けること、繰り返し学習することが「できた」「分かった」と感じる第一歩です。

その四 いろいろな教科に挑戦しましょう。

- ・ 復習だけでなく、必要に応じて予習もしていきましょう。
- ・ 苦手なことにも挑戦しましょう。

3 自主学習を頑張るみんなへ

理想の自分はどんな自分ですか。理想の自分を思い描いてみましょう。

理想の自分に近づくためには何が必要でしょうか。

大切なことは、「行動すること」、「気付くこと」です。今、努力したことは必ずあとに残ります。

すばらしい中学校生活にするために、自主学習を通して自分を高めていきましょう。

保護者の方へ

家庭学習を支えるポイント

- ◇学習しやすい環境をつくること。
- ◇学習している様子を見守ること。
- ◇学校での様子に関心を持つこと。
- ◇将来の夢について話をすること。

5・6年生（基本版）

- ・ 中学年に比べ、学習内容が一段と難しくなる高学年では、日々の学習の復習を中心に取り組みます。時間に余裕があれば予習に取り組みましょう。
- ・ 限られたスペースでできるだけ多くの問題を解いたり、練習したりすることが必要です。

国語（漢字の学習）

報	興	編	解	接	像	格	構	逆	経	容	紙	活	今
通	再	余	前	編	理	面	接	銅	画	規	体	興	了
報	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
報	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
用	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
日	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
の	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
天	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
気	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
平	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
報	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
告	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
を見	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
て	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
お	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
ど	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日
り	興	興	編	集	解	接	銅	像	像	格	格	味	日

繰り返し書くことで漢字を習得することができますが、文章で練習をすることで、より生活場面に近い状況で学習することができます。まずは、教科書やドリルに記載されている文章で練習をしましょう。さらに、新聞の見出しやコラムの視写などは発展的な学習につながります。

算数（計算練習・面積）

小数×小数 三苦手をから

うさぎ

0.24 × 6.73

0.87 × 0

0.38 × 5.70

0.716 × 3

0.1と倍をかくと10倍になると

① 6.84	④ 5.66	⑦ 4.66
x .3	x .36	x .3
20.52	33.96	13.98
② 4.44	⑤ 4.25	⑧ 8.71
x .4	x 1	x .2
17.76	4.25	17.42
③ 9.21	⑥ 8.24	⑨ 5.92
x .5	x .39	x .8
46.05	74.16	47.36
④ 8.26	⑩ 3.61	⑫ 1.23
x .2	x .4	x .9
16.52	14.44	11.07
⑤ 3.59	⑪ 2.98	⑬ 8.12
x .17	x .5	x .6
25.13	14.92	48.72



筆算では、位をそろえて計算できることが重要です。位をそろえることで、小数点の位置についても確認していくことができます。小数のわり算では、小数点の位置の移動を分かりやすく図示することで、正しく計算することができます。

家庭 (ミシン)

ミシンぬいにチャレンジ!

① 下糸を準備する
 (下糸を巻く)

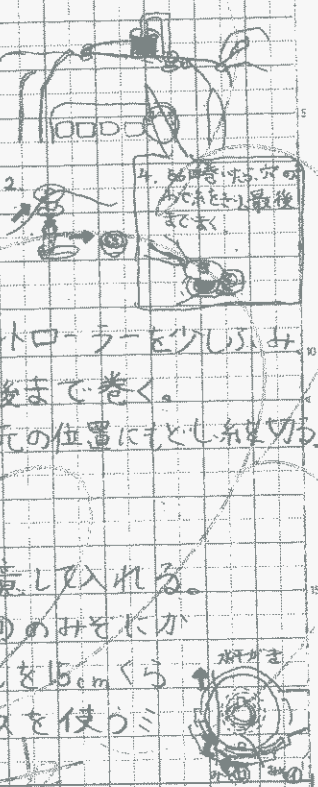
- ①②③の順に糸をかける。
- 糸をボビンの穴の内側から通しボビンを糸巻きじくに着けます。
- 糸巻きじくをボビンの穴におしかけます。
- 糸はしを左手で持ち、右手では針を前方にゆくり回す。コントローラを少しひき戻して糸はしを切り最後まで巻く。
- 巻き終わったら糸巻きじくを元の位置に押し戻し糸を切る。

糸を入れる

- ボビンの向きに注意し入れる。
- 糸を①のみぞから出し②のみぞにかけて針を引き出す。糸のはしを6cmくらい出して置く。(ボビンケースを使うミシンもある)

針のつけはずし

針をつけたりはずしたりするときは、電源スイッチを切り、コントローラを足にのせない。



数字を使ってミシン縫いの手順をまとめています。言葉だけでなく図を用いて説明することで、操作方法がよく分かるような工夫をしています。

家庭科のように実技を伴う学習では、図を用いてまとめることで理解が深まります。

また、調理実習の手順などを実習前にまとめることで、当日の作業を円滑に進めることにもつながります。



学習のめあて



授業の予習をしよう

理科・家庭科・保健 (生活の習慣)

図を用いて、消化や吸収のしくみ、働きなどをまとめています。

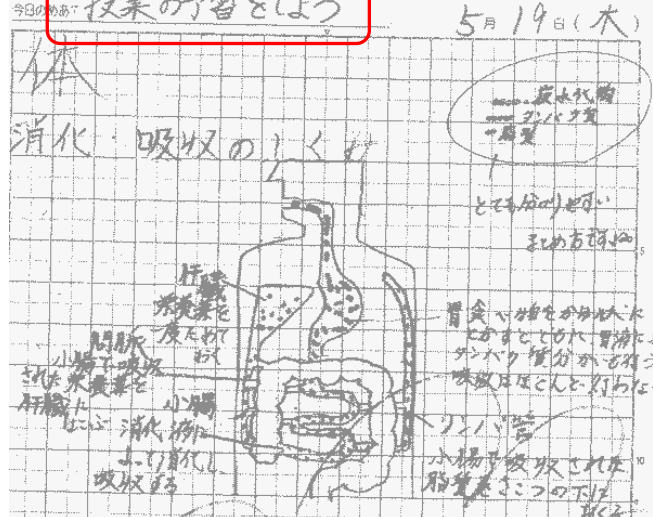
文字だけでなく、図を有効に用いることで、学習効果を高めることができます。



今日のめあて: 授業の予習をしよう

5月19日(木)

消化・吸収のしくみ



肝臓: 栄養素を分解する

膵臓: 消化液を分泌する

小腸: 消化液と胆汁を混ぜて栄養素を吸収する

大腸: 水分を吸収して便を作る

胃: 食べ物をかき混ぜて消化液と混ぜる

食道: 食べ物を胃に送る

口: 食べ物を噛んで飲み込む

咽: 食べ物を食道に送る

消化液: 消化を助ける

胆汁: 脂肪の消化を助ける

栄養素: 体のエネルギーと材料になる

水分: 体の水分を補給する

繊維: 腸の働きを助ける

カルシウム: たんぱく質ととることで吸収されやすくなる

おたかい助け

相乗効果

調べ学習等 (地球温暖化)

学習のめあて

地球温暖化について?

地球温暖化のしくみ

地球の気には、もともと、二酸化炭素、メタン、水蒸気などの温室効果ガスが含まれています。温室効果ガスは、地球の温度をもう少し高い温度に保っています。もし、これらのガスがなければ、地球の表面は今より33度ほど低くなります。この場合、地球温暖化問題とは、人間の活動により、温室効果ガスが増え、急速に地球の温度が上昇する問題のことになります。

熱の一部は温室効果ガスによって、再び放射される。この効果により地表に近い大気はあたためられる。(温室効果)

日射の一部は地球表面に反射される

大部分の太陽の日射は地表に吸収され、地表をあたためる

温室効果ガス(二酸化炭素)

調べ学習では、興味・関心のある内容を取り上げて学習していきます。新聞を切り抜いて内容をまとめたり、辞典や図鑑等を使ってまとめたりしていく学習も有効です。

文字の大きさを変えたり、絵や矢印を使って順序などを示したりしていくと自分の考えが整理できます。

テーマを決めて、継続的に調べ学習をしていくのもよいです。



自分で学習する力を付けます いそどりノートで自分の力を伸ばそう

自学メニュー

【Aメニュー】今日習ったことを再生・補充する

- 1 今日の授業でわかったこと
- 2 今日の授業でわからなかったこと
- 3 今日の授業でもっと調べたい、聞きたいと思ったこと
- 4 今日の授業のテスト問題を作る
- 5 今日の授業内容についての問題をできるだけまで解く
- 6 宿題で苦労したところを繰り返す

【Bメニュー】繰り返して身に付ける（大切なのはできるだけまでやること）

- 1 新しく習った漢字練習、英単語・英文練習
- 2 計算力アップ（リピートを解けるまでやる）
- 3 授業で出てきた語句などを一問一答で覚える
- 4 ワークを繰り返してできるだけまで解く

【Cメニュー】先取り学習

- 1 明日の授業に備えて予習する
- 2 まだ習っていないところのワークをやってみる

【Dメニュー】オリジナルメニューで学びを深める

- 1 新聞記事の要約、感想
- 2 教科書に出てくる人物へ手紙を書く（日本語、英語）
- 3 辞書を使った学習（英語、国語）
- 4 道徳や人権学習で感じたこと、考えたこと
- 5 定期テスト予想問題

【Eメニュー】同じ間違いを繰り返さないために

- 1 テストやワークなどで間違った問題を集めて、解けるまで繰り返す学習
- 2 「なぜそうなったか」「なぜ間違ったのか」など「なぜ」を追求する学習

学習の最後には必ず自分なりにその学習に興味があったかどうかの振り返りをします。

- 例①自分小テスト
②今日の自学のポイントをまとめる
③学習の感想を書く

<中学生の家庭学習の心構え>

★学習環境を整える

まず、落ち着いて学習できる環境や雰囲気が必要です。学習しようと思っても、教科書などがすぐに見つからないと意欲が失われます。机の上にマンガの本があると、誘惑に負けてしまいます。家庭では、机の上や周囲に学習に必要なものを整理して置いておきましょう。学校でも、机やロッカーなどをこまめに整頓し、各教科のプリントをきちんと管理しましょう。忘れ物をしないよう、学習用具をそろえることが大切です。

★毎日コツコツやる

「テスト直前になったら」「3年生で受験が近づいたら」勉強するという声を聞きます。しかし、そうした人の多くが「もっと早くから始めておけばよかった…」と反省するのは確かです。毎日繰り返し学習するのが、しっかりと力を付ける一番の方法です。

★主体的に学習する

「授業中に黑板に書かれたことをただノートに写すこと」＝「勉強」だと思っはいませんか。「学ぶ」とは、「教えてもらう」という受け身の姿勢ではなく、自分から「学び取る」という主体的な姿勢が求められます。家庭学習も目標を立てて取り組むことが大切です。

★まんべんなく学習する

「得意な教科はがんばる」「わかる単元はやる」のでは、本当の力は身に付きません。どんな教科も、どの単元も理解しなければなりません。特に、不得意な教科や十分に理解できていない単元は、時間をかけて粘り強く学習を進めましょう。「分かった」「できるようになった」と実感できたときこそ、学習の喜びが味わえます。

★計画を立てる

気が向いたときに思いつきで学習しても、効果的ではありません。1週間単位くらいの見通しを持って学習する内容を考えていきましょう。どの教科もまんべんなく学習するために、「家庭学習の時間割」を作ってみてもよいかもしれません。